

早春田植え直播発芽が良好!

生産者通信

(有)エコ・ライス新編
定価 100円(送料込)



石橋一寛さんの挑戦「早春リゾケア直播田植」の芽が綺麗に出揃いました。

令和5年秋の収穫後に田起こしをして、秋のうち鶏糞100kgを施肥。冬の間は排水を閉めて水を溜めていました。

4月7日の午前中に荒代、仕上代をし、午後には、田植機でのリゾケア直播。

欠株が見当たらないほど発芽率がよくビックリです。これで移植と同じくらいの収量があれば、増え続ける農地対策の一つとなる可能性があります。

冬の間水溜められる田んぼに限りますが、春の繁忙対策になると思います。



市川農場の圃場を借りて栽培



5月15日に、リゾケアのコーティング種子にマイコスを混ぜて、動散で播種をしました。(二日前に代掻きした圃場)
究極の省力農法です。このやり方に大いに期待し、今後の生育調査をすすめていきます。



大島の挑戦!
8畝の田んぼで
リゾケア
マイコス
栽培
試験

話題沸騰中の 山田錦で リゾケア・マイコス 動散播種を実施

現在、約100haをマイコス・リゾケアで米を栽培する、「トウリーアンドノーフ(株)」(鳥取県)に注目しています。

トウリーアンドノーフ(株)は、令和6年産から苗を作らず、全量をリゾケアで直播種し、圃場に水を張らないマイコス栽培を行っています。加えて、不耕起直播(カバークロップによる水の蒸散を防ぐ効果)にも挑戦しています。

この農法が確立すれば、日本の稲作に革命的な変化が起こります。春の苗づくりでは、現在の規模拡大する生産者の人手不足や施設の必要性等の大きな悩みを二挙に解決することになります。

そこで、当社でも今年度からマイコス栽培の可能性について実証の栽培を行います。

土にマイコスを混ぜて実験

